

従われない規則を破る仕方
How to breach rules nobody follows

中川 敏 (無所属)
NAKAGAWA Satoshi (Retiree)

この発表は、前回の発表、「従われない規則を守る仕方」の続編となる。前回の問題設定はこうだ：フローレス島のエンデの人々の間で、もっとも重要な規則は母方交差イトコ婚の規則である。ところが、この規則はほとんど守られていない。そのような結婚はほとんど行なわれていないのだ。にもかかわらず、その規則は消えることはなく社会の中で生きている。何故だ？これが問題であった。わたしが民族誌の中にさがしあてた答は、エンデの人々は母方交差イトコ婚を遂行しないことによって一種の負債をつくり、その負債こそが人と人を結んでいるのだ、という考え方であった。この負債に相当するエンデ語はないが、日本古代の「アキカエシ」の考え方がそれに近いと、発表では指摘した---貸し借り関係をわざと清算しないことによって、人間関係を維持する古代日本の考え方である。母方交差イトコ婚は、言わば、人々がそれに従わないために存在する、そのような規則である。日本でも事実としては「母方交差イトコ婚をしていない」のだが、それが不作為（「しない」という行為）とみなされないのは、そのような規則がないからなのだ。交通規則がなければ交通規則に違反はできない。とはいえ、（ここから今回の発表に関わる議論である）母方交差イトコ婚に従わないにもそれ相応のやり方があるのだ。母方交差イトコ婚の発生自身が贈与交換（「婚資でむすびつけられたキョウダイ」）であることは前回の発表で述べた。今回の発表ではさらに別種の贈与交換が、母方交差イトコ婚がなされなかったことによって発動することを示したい。いわば、これらの交換こそが「母方交差イトコ婚をしない仕方」なのである。そして、これらの（いわば）第二次の規則の実践をささえる考え方が、やはり、アキカエシの論理であることを示したい。